



Peace Now! News No.4

～広島・長崎・沖縄 2018年企画予告③～



全国大学生協連
発行日：2018/6/8
発行者：小西智仁

Peace Now! Okinawaのご案内

現時点での計画をお伝えします！

(本NEWSのご案内内容は変更される場合があります。今後発信するPeace Now! NEWS およびPeace Now! HPを随時ご確認ください。)



Peace Now! 2018 テーマ

受け継ぐ想い 伝えゆく未来



Peace Now! Okinawa 2018 の概要

日時：2018年9月3日(月) 13:30 ～ 9月6日(木) 14:00

場所：沖縄県内(資料館、平和祈念公園など)

申込み方法：ご自身が組合員になっている大学生協の窓口にて、参加の旨をお伝えください。

申込み締切：7月31日(火)

★集合・解散について

集合場所：那覇空港 1Fロビー(予定) **出発時間** 12:30

※那覇空港から貸切バスで会場まで向かう予定です。**12時までに那覇空港に到着する便**でお越しください。

解散場所：沖縄国際ユースホステル **終了時間** 14:00 ※会場は15時まで開放します。

(〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山 51 URL：<http://www.oiyh.org>)

※当日の集合場所等へのアクセスマップは後日発信予定の携行版をご覧ください。

観光地として親しまれている沖縄 (表)

沖縄は真冬でも10℃以下になることが少なく、その温暖な気候と豊富な観光資源から観光地として人気です。皆さんも修学旅行などで一度は訪れたことがあるのではないのでしょうか。

しかし、このように観光地として多くの人々から「特別」な沖縄ですが、**73年前の出来事**を知っている人にとっては、**違った意味で「特別」な土地**となっています。

その特別を知ってみませんか？

海に込められた想い



首里城の裏側



戦争の記憶が残る沖縄（裏）

沖縄は、太平洋戦争において地上戦の舞台となり、多くの人々が血を流しました。その戦争が起きた証として、いまでも2千百トンもの「不発弾」が残っています。沖縄県のHPでも不発弾処理の詳細が紹介されています。



街と基地が隣接している



今なお残る不発弾

戦争が終わり平穏な生活を取り戻した現在でも、沖縄には米軍基地が多く存在しています。左の写真のように、街と基地が隣接されており、「日常」のなかに「非日常」が溶け込んでいます。基地の移設問題やオスプレイの設置など、沖縄では、日常的に戦争や平和について考える機会が多くなっています。

Peace Now! Okinawaでは、フィールドワークを行い、沖縄の「日常」の中にある「非日常」を知っていきます。観光地としての姿（表）だけでなく、73年前の記憶（裏）を一緒に学んでいきます。

Peace Now! Okinawaでは沖縄の戦争の記憶と今について知り、仲間と一緒に考えを深めていくことができます。たくさんのご参加お待ちしております！！



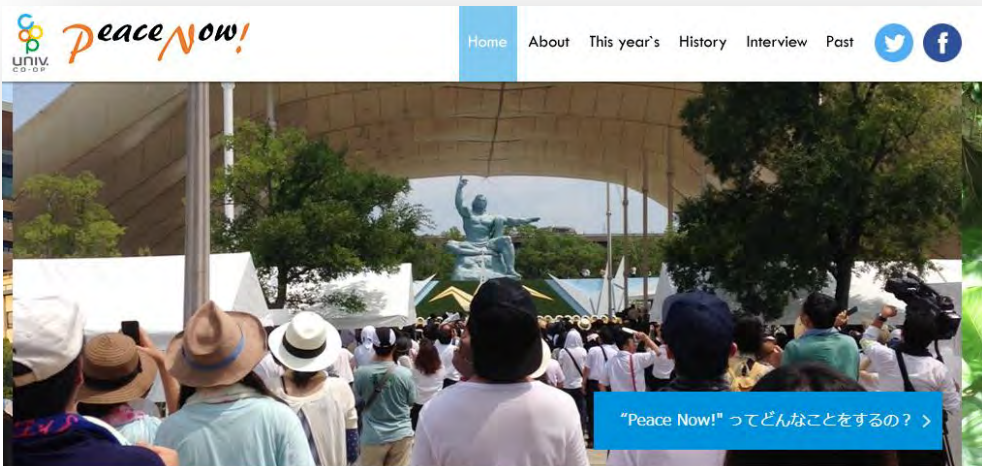
Peace Now! についてもっと知りたい！

Peace Now! 特設HPを
見てみよう！（大学生協連HP）
<http://www.univcoop.or.jp/peacenow/index.html>

こちらから
アクセス！ →→→



インタビュー記事や
過去のPeace Now!の
情報などがあります！



企画詳細・当日に向けたご案内 沖縄編は
7～8月発行予定です！

本ニュースに関するお問い合わせは
全国大学生協連学生委員会 小西智仁 (konishi.tm@fc.univcoop.or.jp) までお願いいたします。